

○児童福祉

収入の項でふれた、少子化対策臨時特例交付金の使い道は次のとおりです。

- ・各保育園・幼稚園で新しい遊具の設置や、空調機等の保育設備の充実を図ります。
- ・保健センターでのパパママ教室、言葉の教室などで使う備品の購入をします。
- ・図書館の児童図書を充実します。

また、所得の少ない家庭の1歳児から3歳児までの児童が、医者にかかった場合の医療費の一部を補助する乳幼児医療対策事業は、当初予算を上回って利用されましたので今回、増額補正をしました。

○ティームティーチング等担当補助教員活用調査研究事業

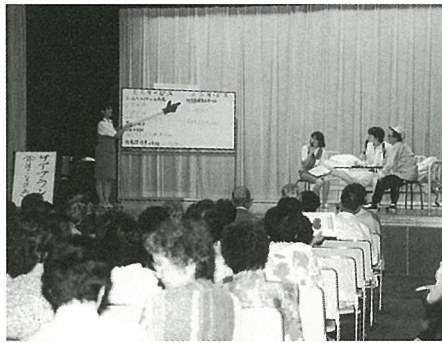
ティームティーチングとは、教科担任と補助教員が協力して学習指導を行うもので、授業の理解度に個人差の出やすい教科や、専門的な技術・才能が要求される教科で、児童の理解や上達を助ける効果があります。

今回の事業では、試験的に小学校でティームティーチングを行い、よりきめ細かい学習指導を実現し、その効果を調査・研究します。

○道路事業

事故が多発している2457号線(旧県営一般農道、作間内地先)で、町内では初の施工となるスピードセーブ舗装工事を実施します。これは、近年、交通事故防止策として注目されている舗装で、あらかじめ舗装面を波状に加工することで、制限速度を超えた場合には車両が上下に激しく揺れますが、制限速度内では滑らかな走行ができるという新しい舗装です。

○介護保険関係



介護保険制度の説明会

平成12年度から始まる介護保険制度の活動に向けて、最終的な準備を進めていきます。

10月から始まる要介護認定事務の効率化及び、厚生省等へデータを送受信するためにコンピュータを導入します。

○農業関係事業

農業の生産性向上を図るため排水路整備事業などの土地改良事業を実施します。

環境にやさしい農業を目指し、農薬の代わりに性フェロモン剤によるヨトウ虫防除事業を日吉地区で行います。

○東総地域ごみ処理広域化事業

地域の環境保全施策の円滑な推進を図ることを目的として、東総地域ごみ処理広域化推進協議会が設置されました。

光町を含む3市6町で今後の東総地域における廃棄物の広域処理に関する方策を協議していきます。

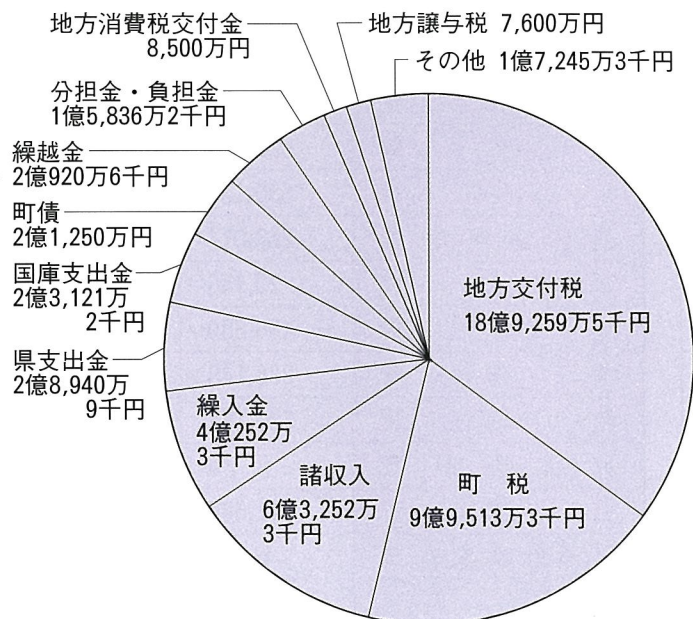
○庁舎改修事業

町庁舎は昭和49年度の竣工からすでに25年が経過しています。そのため各所で老朽化が著しく、特に外壁部分は破片の落下等の事故を考えると大変危険であるため、改修工事を行います。



補正後の予算状況

収入



支出

